

市民フォト鹿児島

*itizen
Photo
Magazine*

●特集

ガイドさん
お勧めの
観光地

No.42

平成2年10月1日発行

自然な光沢があり、丈夫で使いやすい竹製品は鹿児島の特産品。

先日、小山田町にある鹿児島市竹産業振興センターで編み方の手ほどきを受けた。

熟練した確かな技を目の当たりにし、竹製品のすばらしさを直に肌で感じた。(人物はミス鹿児島の坂元美智子さんと、同センター竹工芸講座講師の末廣久資さん)



もくじ

わがまち高度350m P2

特集 / ガイドさんお勧めの観光地 P3~9

クローズアップ（烏野ユリ子さん） P10~11

学校探訪（荒田小学校） P12~14

ふるさとの史跡（南泉院歴代住職の墓） P15

集えは楽し（ターゲット愛好会） P16~17

市民のひろば（やったぞ！ 無人島体験キャンプ） P18~20

ハロー鹿児島（ギゼラ・ベゼラさん） P21

あなたのフォトサロン①（女性釣り教室） P22~23

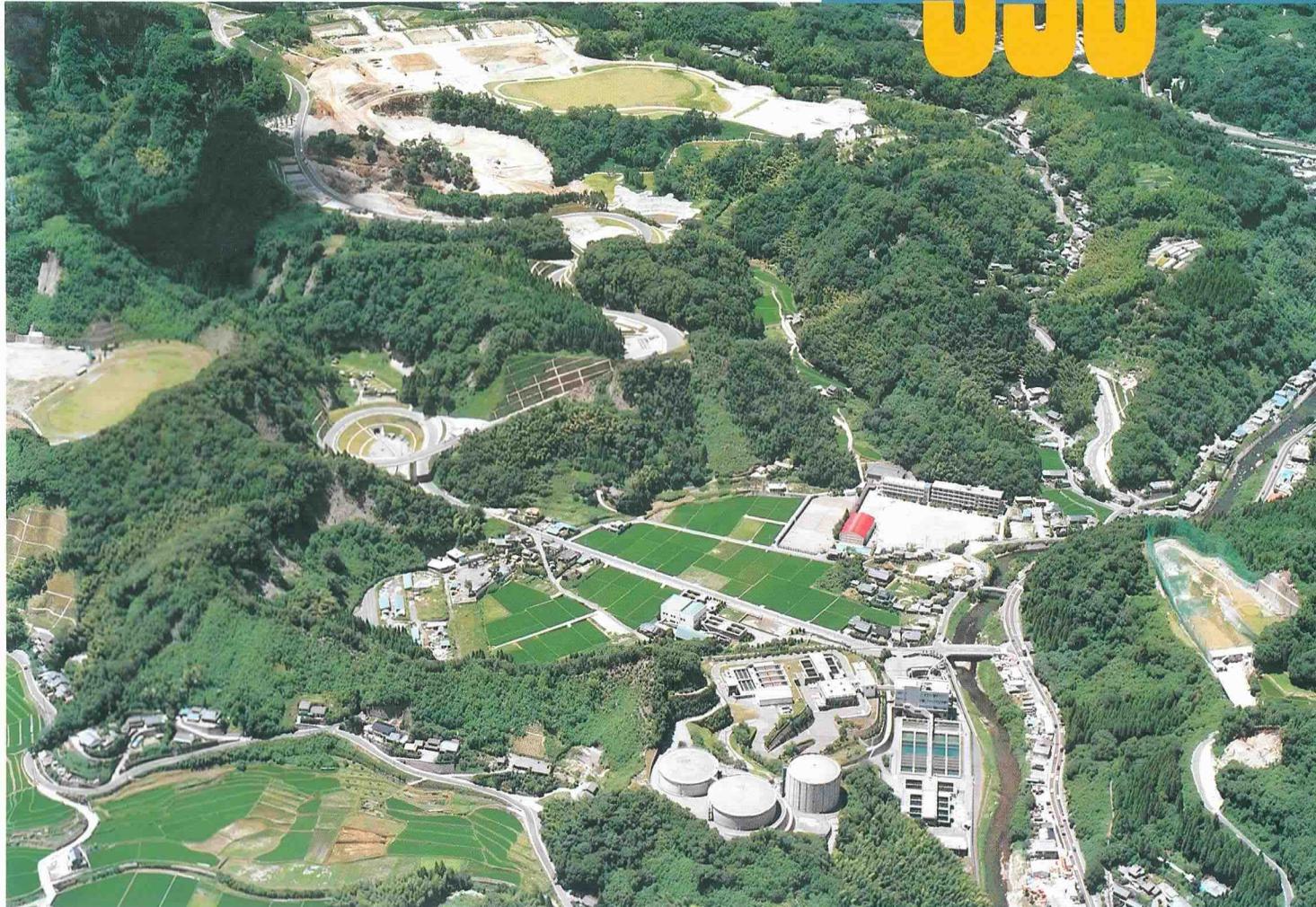
あなたのフォトサロン②（馬、夏休みのラジオ体操） P24~25

わたしの散歩道 P26~27

カメラトピックス P28~29

■ ウォッキング P30

市立美術館（寒山拾得図） P31



『河頭浄水場上空から』

右下の施設が甲突川を水源とする河頭浄水場である。この浄水場は、昭和40年4月給水を開始した。現在の施設能力は一日11万立方メートルで、市内の浄水場の中で最も大きい。

また、中央に河頭中学校、その左上の丘陵地には、かごしま健康の森公園の建設地が見える。かごしま健康の森公園の広さは32ヘクタールと大規模。園内には手軽に健康づくりができるように、さまざまな工夫を凝らした施設が予定されており、現在、平成4年度の完成（平成3年度一部オープン）を目指し建設が進められている。

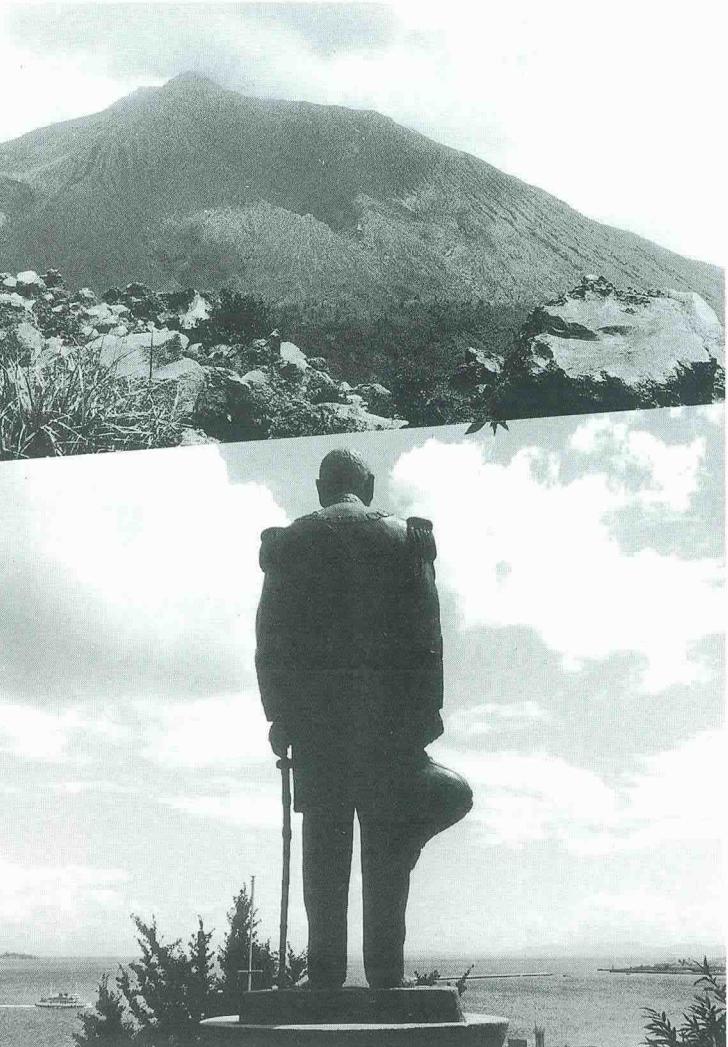
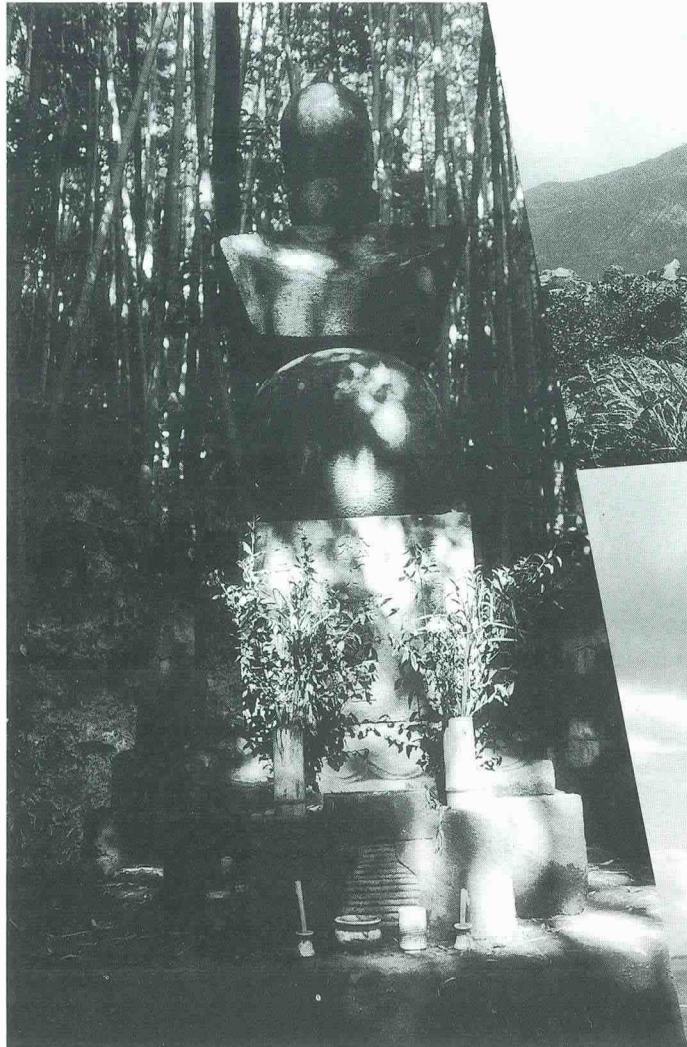
特集

ガイドさん
お勧めの

観光地

暑い夏が終わり、さわやかな秋となりました。スポーツの秋、芸術の秋、読書の秋……などなど、秋は何をするにも最適の季節ですね。さて、この季節になると観光地の散策などに、こころをかきたてられる方も多いのでは。

そこで、今回の特集では、鹿児島市交通局の市内定期観光バスのガイドさんに、日ごろ案内している観光コース以外で、お勧めの観光地を紹介してもらいました。



多賀山

心落ち着く 静かな散策地

街中の雑踏を離れた鹿児島駅の北側に多賀山があります。

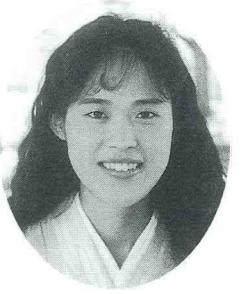
島津氏が、鹿児島に入つて初めて築いた東福寺城跡があるこの多賀山を歩くと、今なお戦国時代の合戦の声が聞こえるような気がします。

また、東洋のネルソンと称された東郷平八郎の遺髪を葬った

墓地もあり、軍服姿の銅像が錦江湾をじっと見つめています。

こんもりと緑が茂り、春は桜が咲きみだれ、夏は新緑、秋は紅葉と、四季を通じて楽しめます。

歴史と自然に恵まれ、たそがれ時の夜景も心を奪うものがあり、心落ち着く静かな散策地です。



新留孝子さん

探勝園跡



大薄ゆかりさん

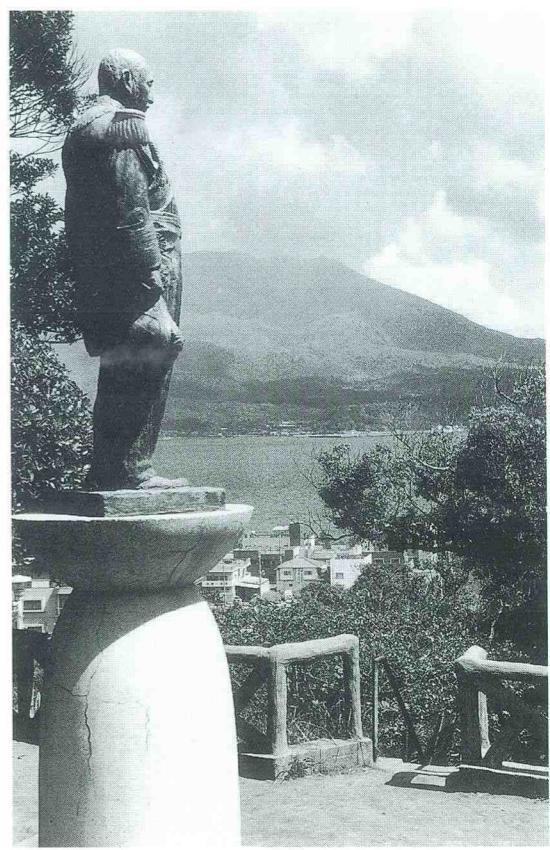
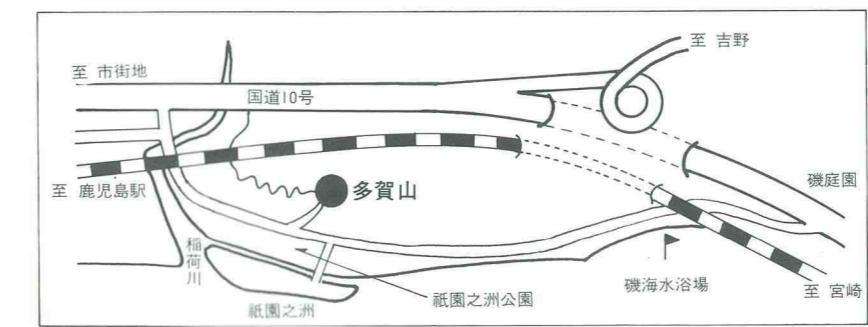
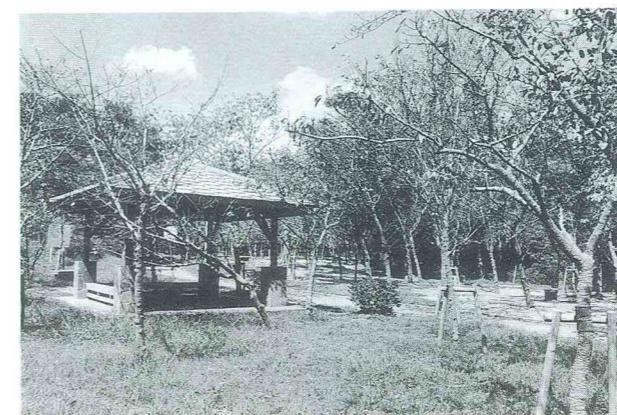
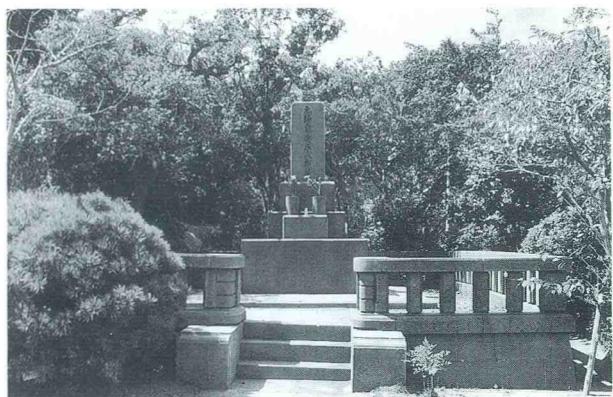
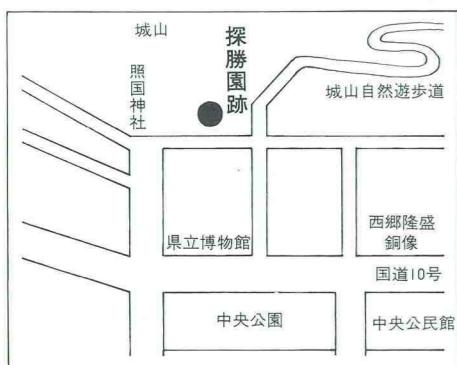
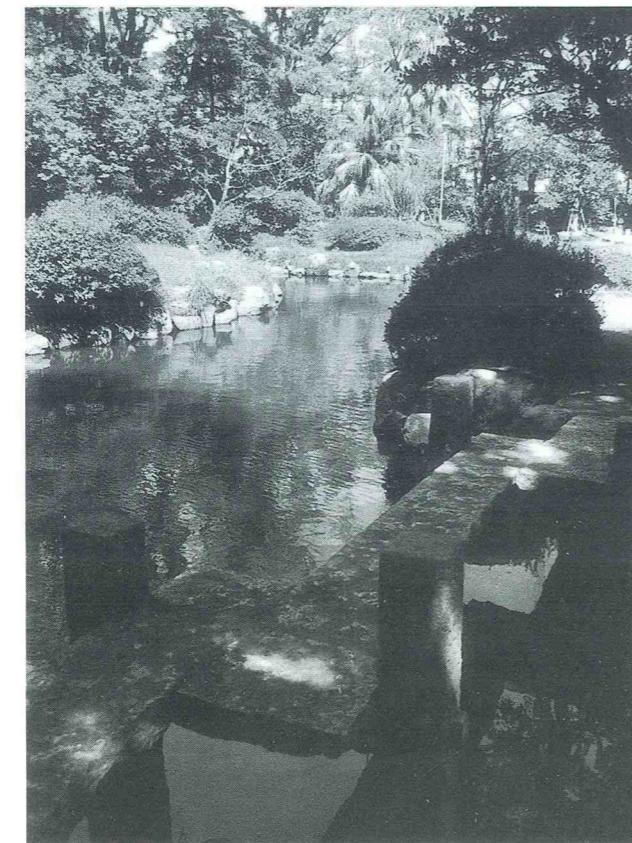
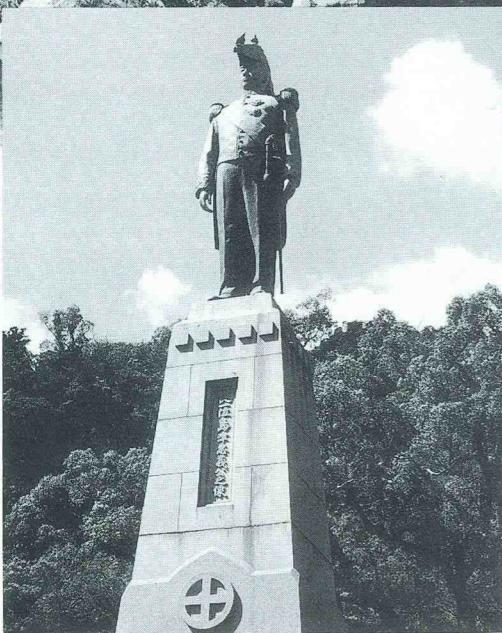
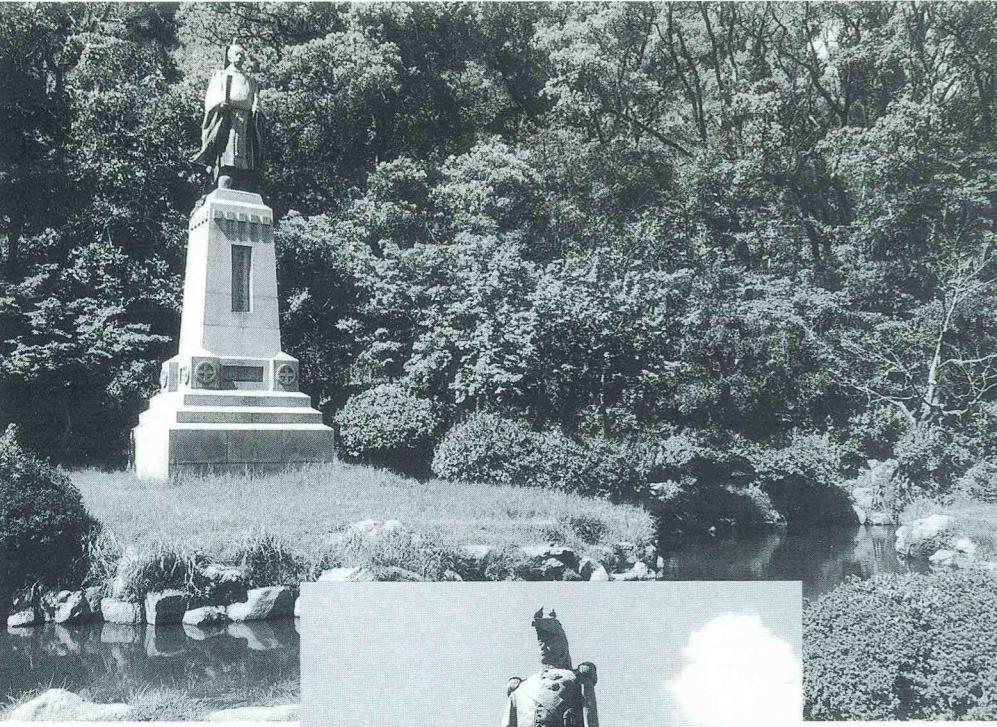
都会の
オアシス的な
雰囲気がいい

照国神社の北側にある探勝園跡は、鶴丸城の二之丸庭園でした。

ここは、島津二十五代藩主重豪の時代に造られ、初めは千秋園と呼ばれましたが、二十七代斉興が手を加え、探勝園と名付けられました。すばらしい庭園だったといわれます。

探勝園跡には、二十八代斉彬が電信の実験を本丸との間で行つた電信使用の碑や、明治維新に大きく貢献した島津久光・忠義父子の銅像があります。

市内の中心に樹木が生い茂り、都会のオアシス的雰囲気には、しばし心が休まる場所です。



清泉寺跡

磨崖仏が昔の面影をとどめる



長濱まり子さん

国道225号線の向原バス停から、海側へ五分程度下つたところに清泉寺跡があります。

この清泉寺は、慈眼寺と同じく百濟の日羅上人が開いた寺と伝えられますが、惜しくも明治二年の廃仏毀釈で廃寺となりました。

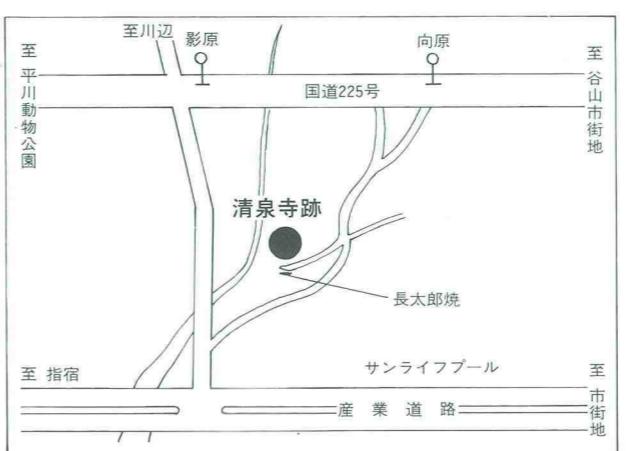
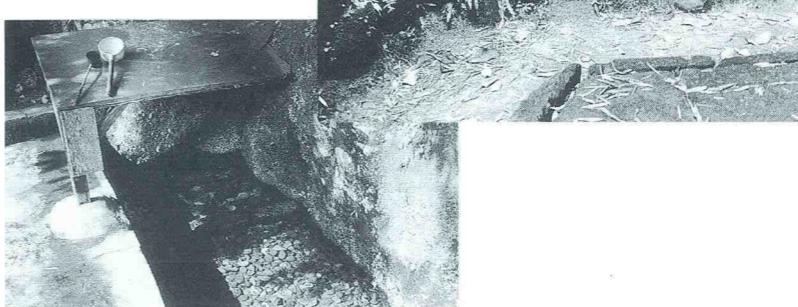
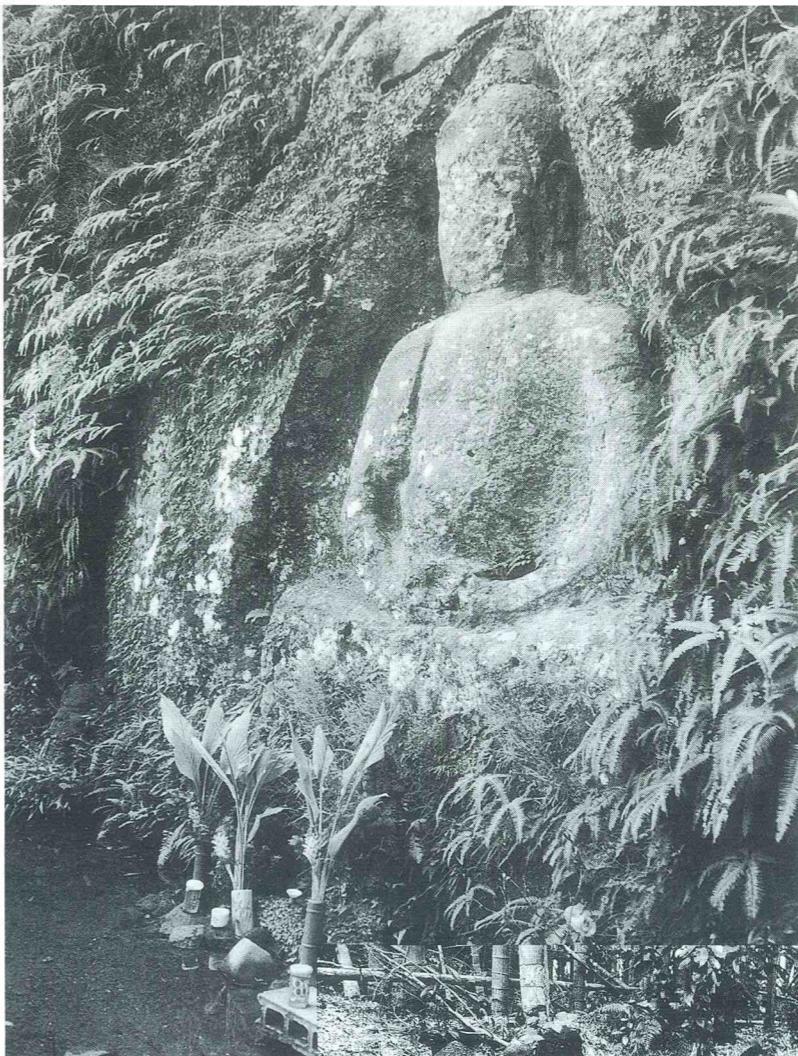
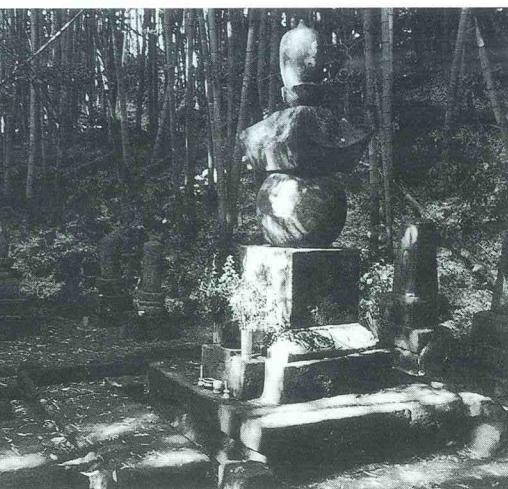
うつそうとした樹木や竹林に

から、海側へ五分程度下つたところに清泉寺跡があります。この清泉寺は、慈眼寺と同じく百濟の日羅上人が開いた寺と伝えられますが、惜しくも明治二年の廃仏毀釈で廃寺となりました。

うつそうとした樹木や竹林に

おおわれ、岩間からはこんこんと清水が湧き出し、まさに清泉の名にふさわしいところです。

寺跡には、高さ二・七メートルの阿弥陀磨崖仏や大きな五輪塔群、石垣などが残り、昔の面影がしのばれます。



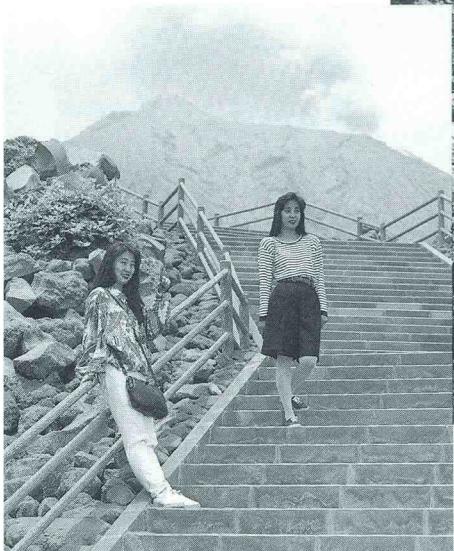
右田あゆみさん

桜島の迫力を

間近に感じる

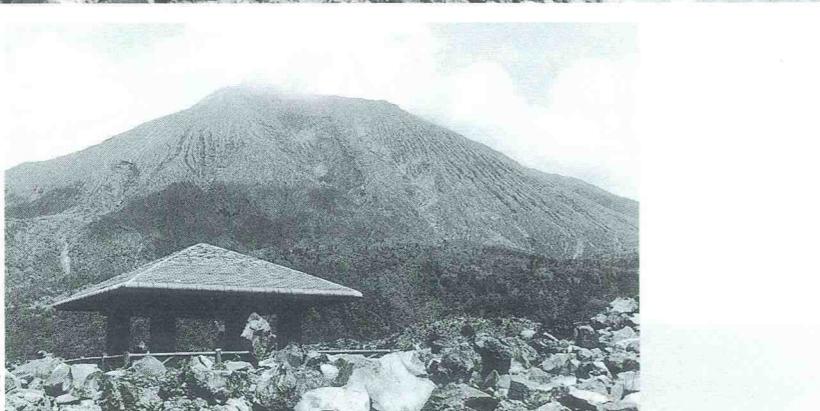
大正三年の大噴火で大隅半島と陸続きになった火の島・桜島に、新しく完成した有村の溶岩遊歩道。

以前の展望所より少し奥になりますが、全長一キロメートルの起伏に富んだコースには展望休憩所や桜島の爆発に備えて避難できるトンネルも造られています。



大正の溶岩原と南岳がすぐ目の前に迫り、大隅半島との陸続きの桜島口も望める、こんな自然が生んだ雄大かつリアルな展望所は、日本でも類がないと思います。

いろんな姿を一日中演出してくれる鹿児島の顔・桜島を充分に味わえる展望スポットです。



有村溶岩遊歩道

桜島の迫力を

間近に感じる

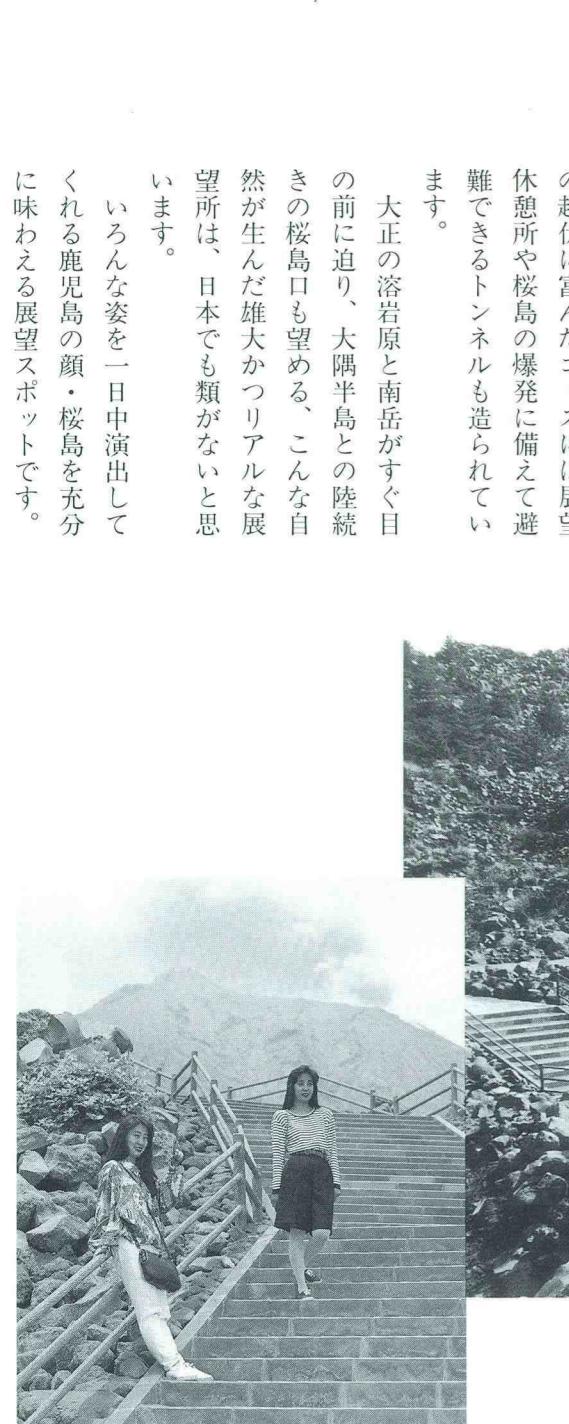
大正三年の大噴火で大隅半島と陸続きになった火の島・桜島に、新しく完成した有村の溶岩遊歩道。

以前の展望所より少し奥になりますが、全長一キロメートルの起伏に富んだコースには展望休憩所や桜島の爆発に備えて避難できるトンネルも造られています。

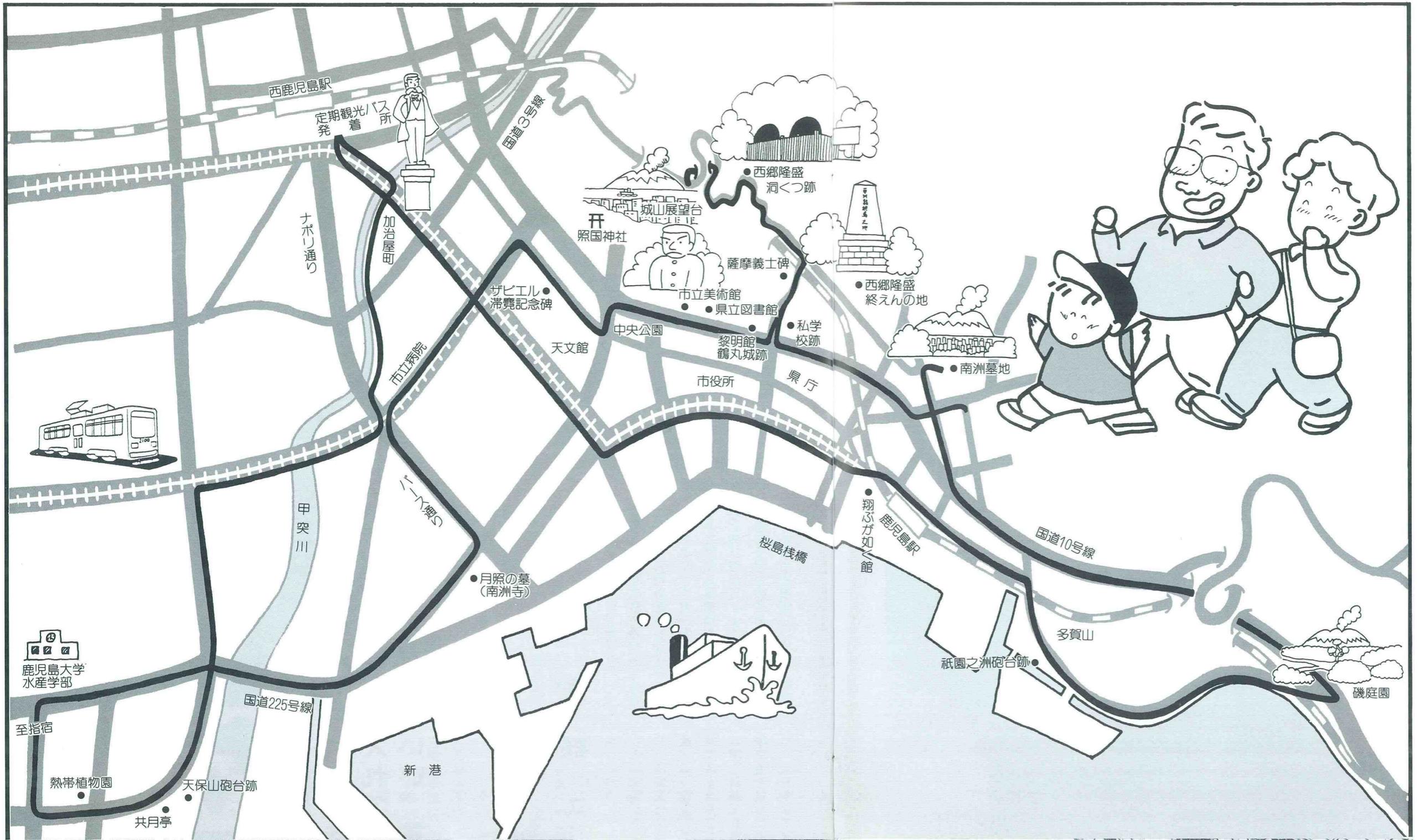
大正の溶岩原と南岳がすぐ目の前に迫り、大隅半島との陸続きの桜島口も望める、こんな自然が生んだ雄大かつリアルな展望所は、日本でも類がないと思

います。

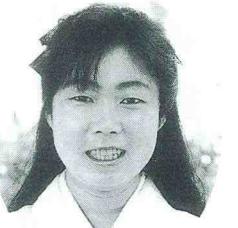
いろんな姿を一日中演出してくれる鹿児島の顔・桜島を充分に味わえる展望スポットです。



市内定期観光バスコースご案内



鹿児島のすばらしさ 再発見



藤本真佐代さん

鹿児島市には、至る所に多くの名勝・旧跡があります。市内に住んでいても、新たに発見することがたくさんあると思ひます。日ごろ市内を案内している私たちも、まだ知らぬ所がたくさんあります。それだけに興味も尽きないので、鹿児島の歴史には計り知れ

くの名勝・旧跡があります。

市内定期観光バスは、短時間に豊かな鹿児島の歴史や自然に触ることができます。

ぜひ、みなさんも、鹿児島のすばらしさを再発見する第一歩に、市内定期観光バスをご利用ください。

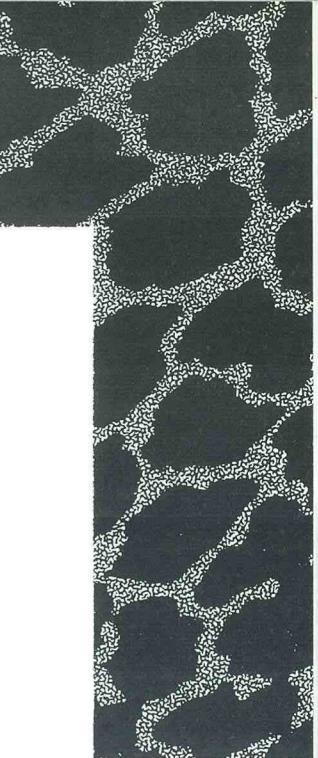
●主な観光コース

西鹿児島駅前→西郷・大久保誕生の地→共月亭→熱帯植物園(下車25分)→月照の墓→ザビエル滞在記念碑→西郷銅像→薩摩義士の碑→城山(下車15分)→私学校跡→南洲墓地(下車30分)→磯庭園(下車40分)→旧磯街道→鹿児島駅前→天文館→西鹿児島駅前

*印は下車見学地

- 出発地/西鹿児島駅前観光案内所
- 料金/大人2,200円
小人1,200円(12歳未満)
- 出発時刻/午前9:05 午後1:45
- 所要時間/3時間15分





国際交流なんてちつとも難しくない。外国人を受け入れて、生活をともにするだけでいい。言葉はいりません。

●日本舞踊だけにとどまらず、日本の文化全般を世界に紹介しようと結成された「国際文化交流会『TEN』」代表

鳥野ユリ子さん

一九八五年八月、鳥野さんら草の根文化大使の女性五人は、不安を胸に太平洋を渡った。アメリカの五カ所で日本舞踊を披露、喝さいをあびた。いつしか不安は消え、各地で受けた歓迎の喜びを胸いっぱいに抱えて帰国した。

「八二年にアメリカの女性がう



'90オーストラリア・ニューカレドニア文化交流公演のメンバー

ちにホームステイしたんです。舞踊を教えていた様子を見て、ぜひアメリカで紹介してくれないかと言ふんです。実は、自身の心の中にも「海外で踊りたい」という衝動がくすぶっていた。「日本の伝統文化に対する憂いがあつたんですよ」という。

「伝統文化が忘れられていますよね。踊りや茶道にしても、若い人たちにとっては古臭いことやつてるな、という感覚なんです。私たち、その『古臭い』日本舞踊を手段に、国際交流という最先端を行っているんです。文化って人間そのものでしょ? 自分の国、文化を身につければ、国際交流はやりやすい。伝統文化を若い

うためにあるのではなく、国際交流の手段に過ぎないと割り切っている。「理解してもらうのは、その次の段階」というわけだ。「西洋文化のオーバーな表現と違い、日本舞踊は表情を変えずに表現を内へ秘める。はじめは何かばけものでも見ているような感じで、一曲目が終わっても拍手はこない。その後美しいに気づいて、次第に拍手が多くなっていくんです」。終わると質問が次々に飛んでくる。

ここから会話が始まり、心と心の触れ合いに発展する。

「どこから来たの」と聞かれるとき、必ず「日本の鹿児島です」と答える。「東京や大阪は息苦しいと感じている外国人は多いですよ。

TENの交流活動は自腹。だから身軽である。八六年には、パリで通行人相手にストリート・パフォーマンスを敢行。「美しき青きドナウ」や「青年おはら節」などを舞つた。日本舞踊は理解しても

らうためにあるのではなく、国際交流の手段に過ぎないと割り切っている。「理解してもらうのは、その次の段階」というわけだ。「西洋文化のオーバーな表現と違い、日本舞踊は表情を変えずに表現を内へ秘める。はじめは何かばけものでも見ているような感じで、一曲

も終わっても拍手はこない。その後美しいに気づいて、次第に拍手が多くなっていくんです」。終わると質問が次々に飛んでくる。

ここから会話が始まり、心と心の触れ合いに発展する。

「どこから来たの」と聞かれるとき、必ず「日本の鹿児島です」と答える。「東京や大阪は息苦しいと感じている外国人は多いですよ」

PROFILE

文／鹿島啓司 朝日新聞社記者



八歳で日本舞踊を始める。三十八歳のとき吾妻徳穂氏（日本で初めて日本舞踊を海外に紹介。日本芸術院会員）に師事。現在、吾妻流千光会会主。趣味は映画鑑賞だが、最近なかなか時間がとれないのが残念そう。鹿児島市国際交流市民の会理事も務める。桜ヶ丘四丁目住民。

学校探訪



いっぱいかざりを作ろう～七夕まつり



楽しくレクリエーション～七夕まつり



偉人をたたえる～三方限出身名士顕彰碑の慰靈祭



収穫っていいな～8月の稲刈り体験



元気に韓国岳登山～修学旅行



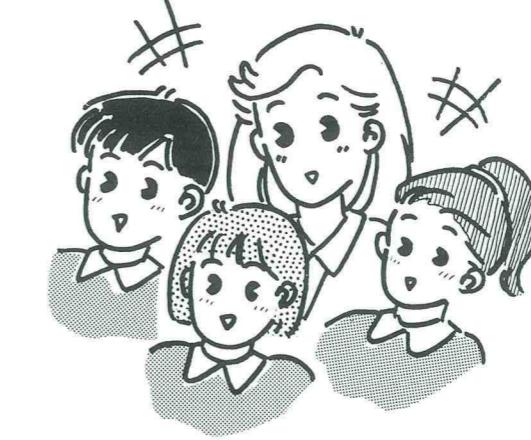
しっかり勉強しているよ～日曜参観



川をきれいに～クリーン甲突川・新川作戦にて



ドラゴンボートレースに参加～かごしまウォーターフロントフェスティバル'90



荒田小学校

●創立…大正11年4月1日

●児童数…476人(9月1日現在)



学校は活気にあふれている



ぼくたちの学校

六年 穂森 晴哉

ぼくたちの荒田小学校は、鹿児島市のほぼ中心にあり、交通の便がとてもいい所です。大正十一年に学校ができた時は、周りは一面の田んぼでした。そのころは、学校の新しい歴史を作ろうと、運動に力を注いでいました。鹿児島新聞社が主催していた南九州オリンピック大会では、荒田小の選手が次々に上位に入賞し、優勝旗をかざして万歳をしながら帰ってくるほどだったそうです。

荒田、高麗、上之園の地域は、江戸時代は「三方限」と呼ばれ、幕末維新に活躍した多くの偉人が生まれ育った所でもあります。「翔ぶが如く」で知られている大久保利通や、わずか十三歳で留学してアメリカでぶどう王となつた長沢鼎

など、たくさんの人が出ました。

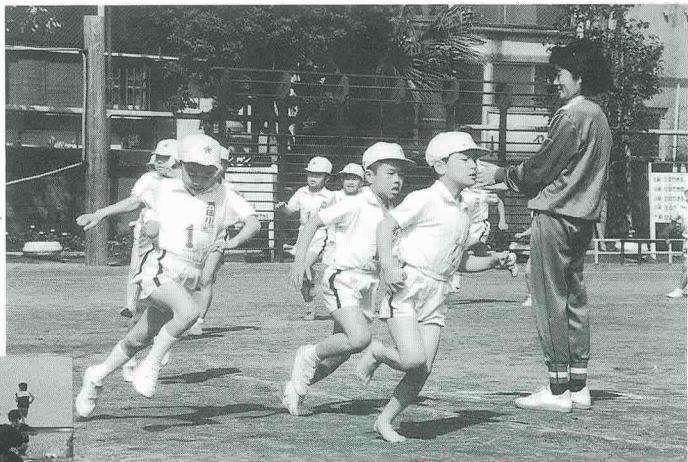
このような偉人の業績を記念して、甲南中の校門の横に「三方限出身名士顕彰碑」が、昭和十年に建てられました。ぼくたちは、このようなたくさんの先輩たちから、いつも励まされているような気がします。

荒田小には、五つのスポーツ少年団があります。市内には一つしかないカヌースポーツ少年団は、甲突川やプールで練習しています。ソフトボール、サッカー、ミニバスケットボール、バレーボールの四つの少年団は、きびしい練習にも負けずにがんばっています。今年で四年目の金管バンドは、運動会や音楽会に向けて、朝夕、練習に励んでいます。

昭和三十五年に約千六百人いた児童も、今は四百七十六人と減っています。年々三十人ぐらいうつ減ってきて、少しきびしいですが、ぼくたちは、先輩たちと同じように、行事や勉強、スポーツに一生けん命取り組んでいます。ぼくも、いつか、郷土の偉人たちのように立派な人になりたいと思います。



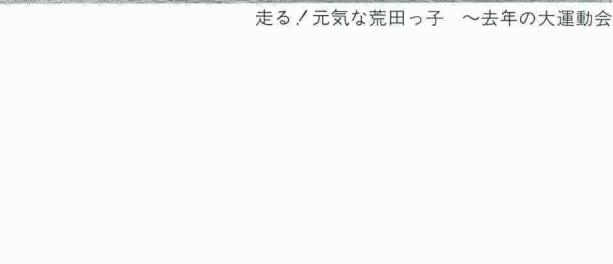
いい色が出せるかな
～スケッチ大会



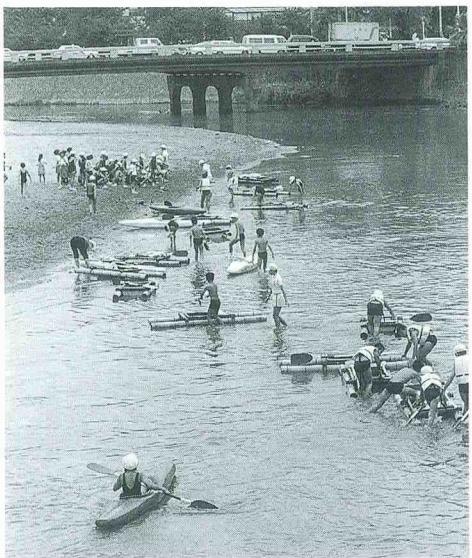
走る！元気な荒田っ子～去年の大運動会



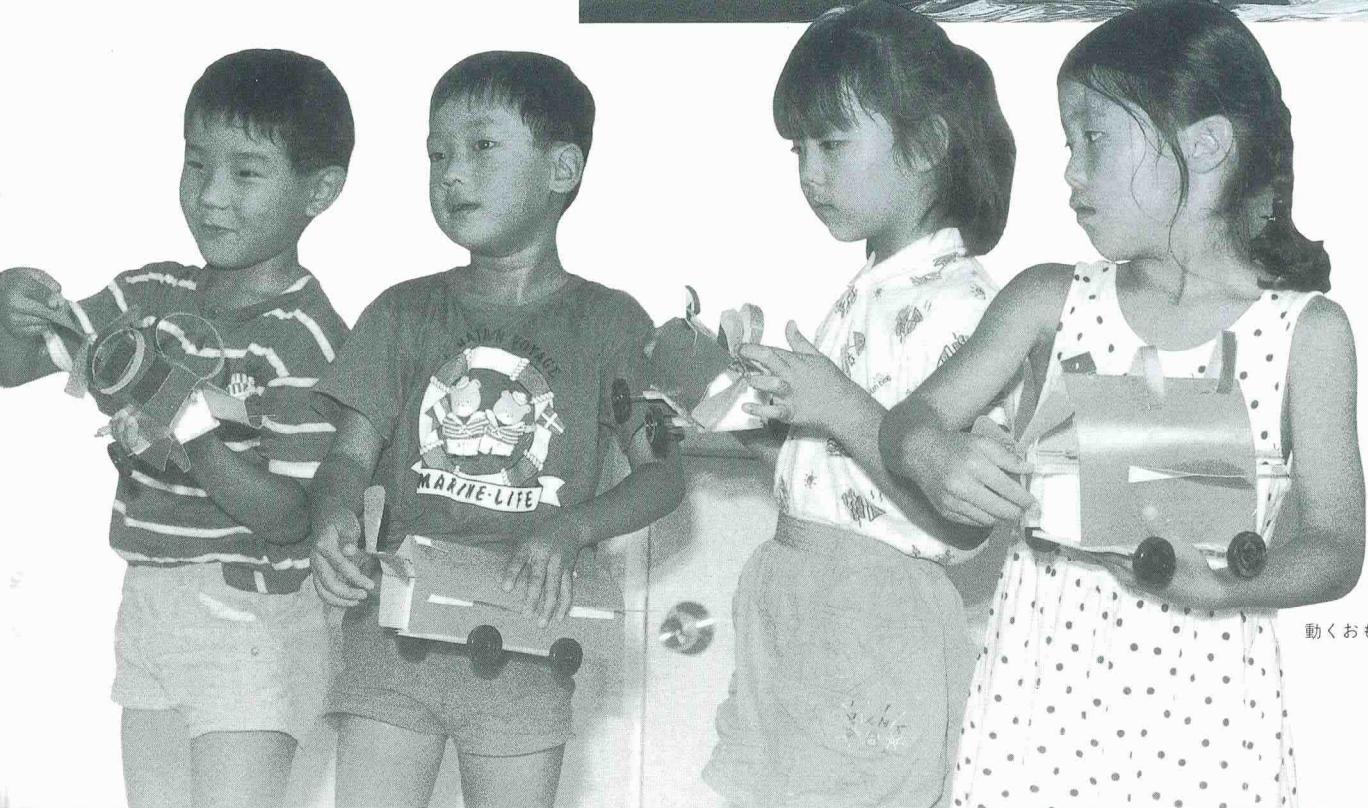
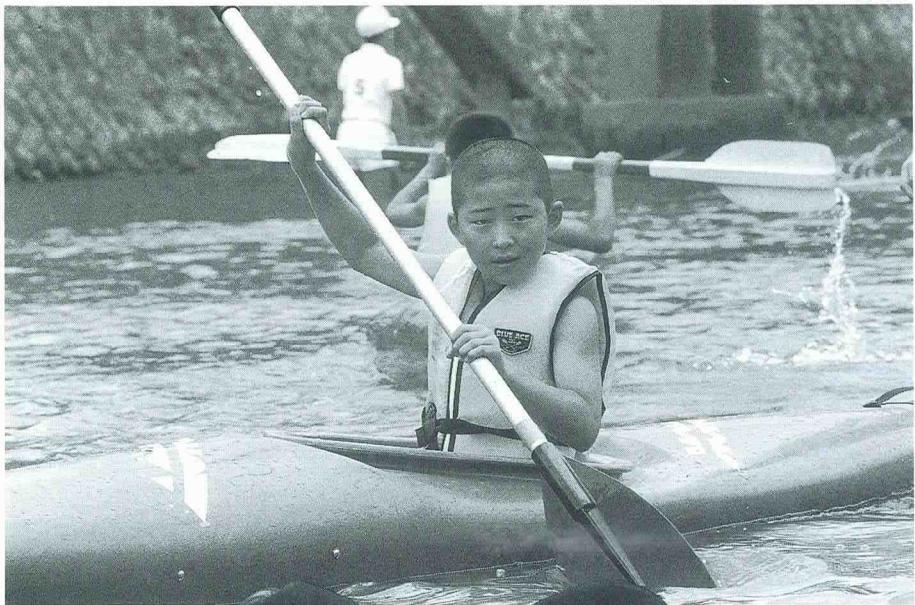
学年の枠を超えて「図工講習会」



オールさばきも軽やか～カヌーあそび

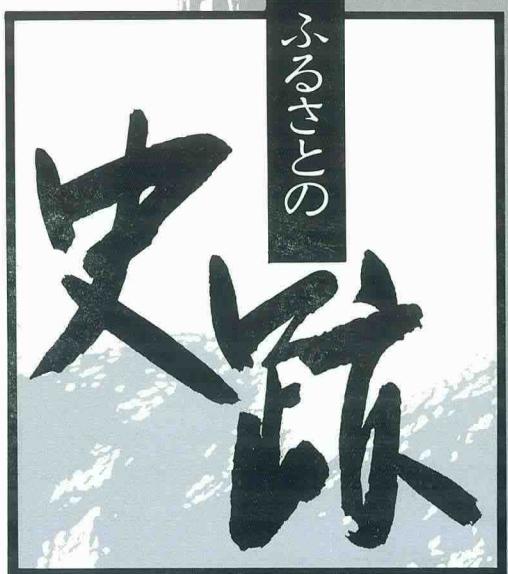


甲突川でのカヌーあそび



動くおもちゃ作り

ふるさとの
歴史



東照宮の別当寺

南泉院歴代住職の墓

県文化財保護指導委員

西 元 肇

車がひしめき合う国道3号の下
伊敷バス停から幸加木川に沿いな
がら、九州縦貫自動車道高架の下
を通り、小野高山バス停で下車す
ると、右手にうつそうとした雑木
林が見える。樹齢百年を超すカシ、
シイの大木や、すうつと伸びたモ
ウソウ竹林の緑陰が心をなごませ
る。歴代住職最後の権僧正智融
の孫にあたる林巖厳さん（八三）
の案内で墓碑を訪ねた。

大雄山南泉院は、照国神社のと
ころにあつた天台宗の寺院で、宝
永七年（一七一〇）、徳川家康を祭

る東照宮の別当寺として建立され
た。寺領は五百石、三州天台宗の
触頭として藩内有数の大寺院で
あつたが、明治二年（一八六九）の
廢仏毀釈によつて廢寺となつた。

小野高山が南泉院領であつたた

め、この地に歴代住職が眠つてい
る。墓は上段に開山偏諱周僧正
（じょう）の下段に二世から十一世ま
での石塔が並んでいる。蓮台を

使つた大きくて立派な墓石群は、
林さんが管理しておられ、常に掃
き清められ、よく保存されてい
る。また往時の証として小野に移
築された庫裏も残されている。平成

元年三月、市文化財に指定された。



照国神社前にある
南泉院前通りの碑



ここ(下段)に2世から11世までの石塔が並ぶ



上段にある初代偏諱周僧正の墓



最後の住職の墓



集えば楽し



みんなに広げたい ターゲット・バード・ゴルフ

ターゲット愛好会

ターゲット・バード・ゴルフはレクリエーションの新種目です。競技の方法はいたって簡単で、ゴルフのピッチングウェッジを使い、シャトルボールをできるだけ少ない打数でホールに入れるのを競います。

ゴルフに比べて、手軽にできるのが魅力のゲームです。

現在、会員は男女半々ぐらいで二十人、ほかに時々参加する人が約三十人います。

「今は、県立鴨池野球場周辺で週二回ゲームを楽しんでいますが、正式なコースが市内にないのが残念です。短いホールで、ストレー

トで入ったときの気分は最高。毎日でもやりたくなります。今後、競技人口が増えて、市内や県、九州、そして全国大会が開けるようになるといいですね。」と会長の玉利久男さんは話します。

今年の全国レクリエーション大会には、会員の中から四人が出場します。

和気あいあいの雰囲気の中で競技を楽しんでいる、とても若々しい皆さんでした。

ターゲット・バード・ゴルフ

ゴルフに準じた競技で、ボールをできるだけ少ない打数でホールに入れるのを競う。

ホールは十六(一百)に設営し、前半九ホール、後半九ホールの計十八ホールを原則とするが、そのときの地形や広さなどによってホール数、距離を自由に決められる。

ゲームはシャトルボール(ゴルフボールにバドミントンの羽根をつけたようなもの)をゴルフのピッチングウェッジ(フルセット使うこともある)で打ち、シャトルボールがホールに入るまでに何回打ったかで勝敗を決する。

市民の ひろば



「市民のひろば」はMBCから放送されます。放送日時は、毎月第三日曜日を除く日曜日の午前八時から十五分間。ただし、第四日曜日は三十分間放送。

(この番組は、平成二年八月二十六日に放映したもので。)

出演者（敬称略）
無人島生活体験キャンプ
参加者の十八人

参加者の十八人 児島市長 験キヤンブ

赤崎 義則 鹿児島市長
後田 逸馬 市立少年自然の家所長
上野 知子 司会

『やつたぞ！無人島体験キャンプ』

無人島・馬毛島という大自然の中で、キャンプをしてきた子供たちと市長がすばらしい体験を語ります。

元氣に帰ってきた子供たち

上野　スタジオを飛び出しまして
今日は鹿児島市立少年自然の家の
学習棟にやつきました。

七月三十一日から五泊六日の日
程で行われました、大自然へのト
ライ＆トライ、無人島生活体験

人島になり、いまでは馬毛シカが住む島として知られています。後田所長、引率御苦勞さまでした。この事業は、今年で四回目になるわけですね。

後田 はい。実は昨年、初めて馬毛島にトライをしようとしましたが、台風で島を目の前にしながら戻を次んざりますよ。

上野 今年は、期待どおり馬毛島
までたどり着いたわけですね。
それでは、今回のキャンプのあ
らましをご紹介しましょう。

馬毛島活動日記(1)・・・
無人島生活体験キャンプの参加者は市内の子供たち五十人です。今回の事業への応募は二百八人で、四倍の競争率でした。

鹿児島港から出発した子供たちは、種子島の子供たち十二人と合流。八月一日、いよいよ西之表港から漁船に分乗、を目指す馬毛島へ出発です。

馬毛島は、一番高い所で標高が七十一メートル。平らな島です。島に着いた子供たちは、日差しの強さや水不足などで疲れ気味。でも、子供たちは自分の荷物を持ち、炎天下を歩いて船着き場から一・八キロメートルの塔之崎のキャンプ場まで行かなければなりません。

期間中、子供たちはきれいな海水浴や自然観察など、たくさん貴重な体験をしてきました。

の崎山さんはどうでした。樂しかつた？

に貴重な水だったと思ひます。
わたしは、こうした意味でも皆
さんの無人島での生活体験は、現
在の生活を振り返る非常に有意義

大変きついからと思ひますから
越えていくことやいまの自分たちの生活がいかにありがたいか、
ということを経験しなくてはいけない。例えば、水道でも栓をひね

・・・馬毛島活動日記②・・・

すばらしい自然とのふれあいでなく、自然のすばらしさを充分体験する機会もありました。

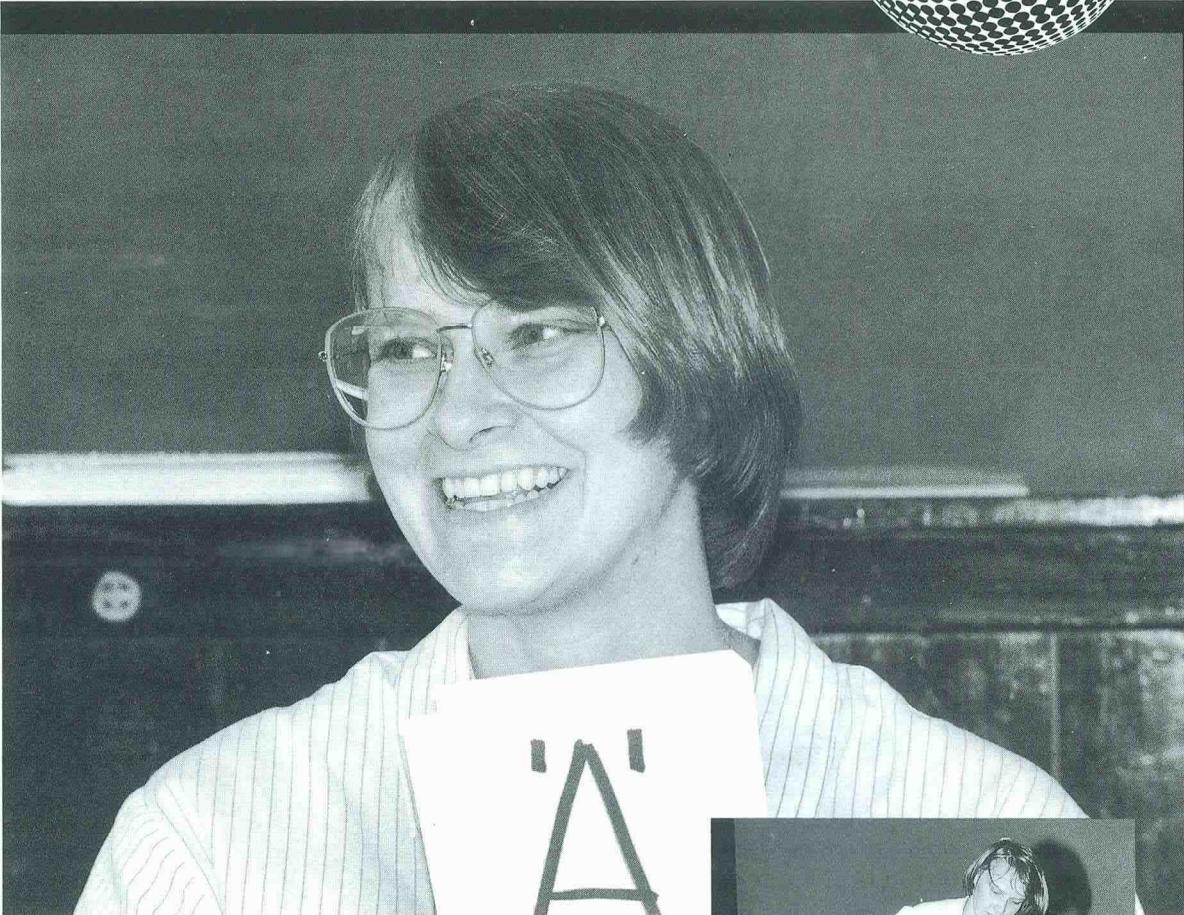
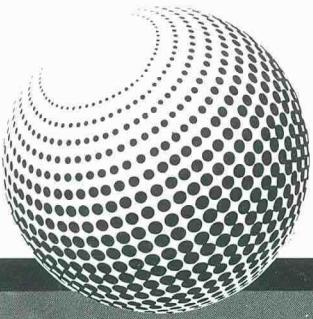
卷之三

A black and white photograph showing a group of approximately 15 people, mostly young children, sitting in a circle on the floor of a large room. In the center of the circle are several CRT computer monitors. The participants are dressed in casual clothing. In the background, a man stands holding a microphone, and another person is seated at a desk with equipment. The room has large windows and a polished wooden floor.



ハローー鹿児島

ギゼラ・ベゼラさん（西ドイツ）



Hello KAGOSHIMA



英語とドイツ語を教えていた。授業は、会話を中心に、劇などもとり入れて、生徒たちが興味をもつように工夫している。英語が話せるだけで先生になれると思われがちだが、いかにわかりやすく教えるかも研究しなければならないという。日本の学生は、休み中も勉強に追われて本当の「休み」を味わえないのは残念だ、とも。

故郷の西ドイツを離れて十年になる。その間、ヨーロッパも大きく変化し、国際化していると喜ぶ。

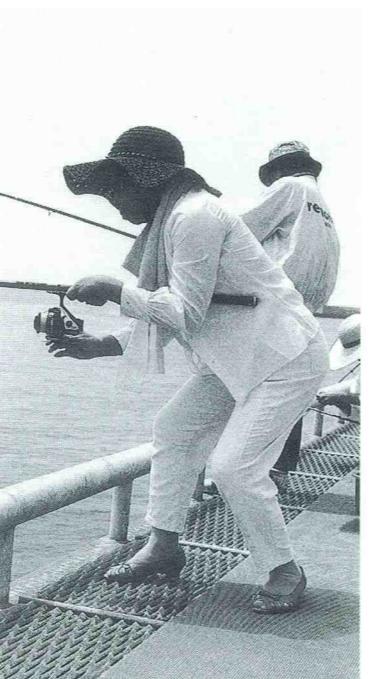
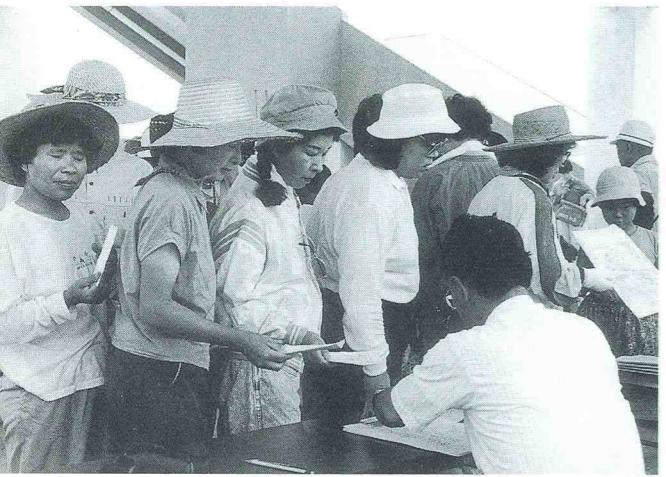
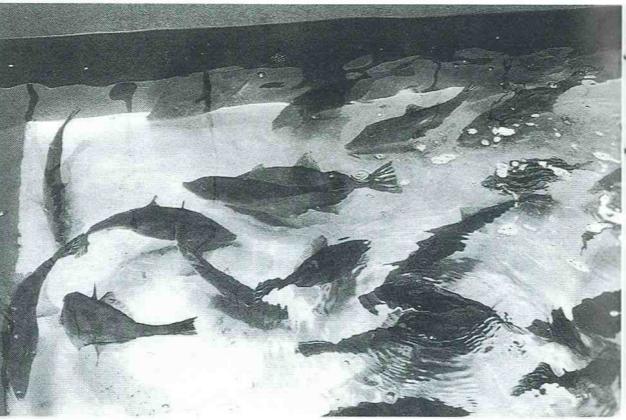
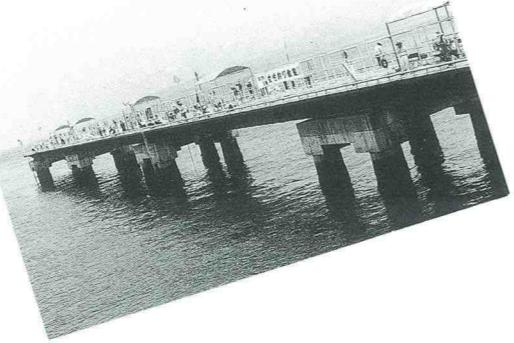
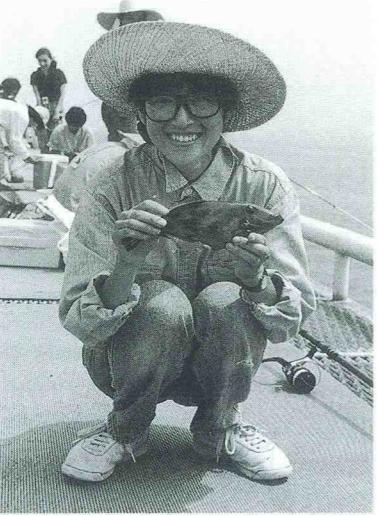
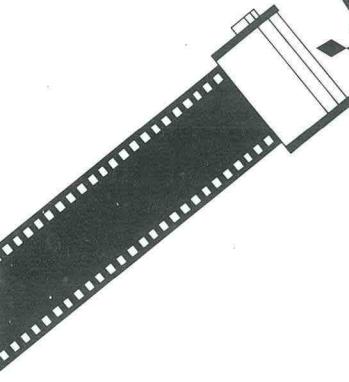
鹿児島は、とても住みやすくて気に入っているそうだ。「鹿児島の人は、親切で、やさしいです。私は、いつも感謝しています。ただ、英会話教室が多いように、日本語教室も増やしてほしい」と研究者らしく希望する。

二人が静かに向き合って、演武が始まる。合氣道は声を発しない。静かな中で、きびきびと技をかけ合う。現在、十月七日の演武会（中央警察署武道館 12時30分）へ向けてけい古中。二年前来鹿して初めて学んだ。今では周りの人にもすっかりとけ込み、道着姿も板についた。

なぜ、合氣道を？「言葉にするのは難しいですが、相手との競争ではなく、平和的だからです。けい古を三十分もすれば汗が流れるが、とても気持ちがいい、とさわやかな笑顔をみせる。



普段は、鹿児島女子短期大学で



八月二日、海づくり公園で「女性釣り教室」が、大勢の参加者の中行われた。

格好だけを見れば、とても初心者は思えない参加者ではあるが初めて釣りをする方もいるようで係員の仕掛けや道具の説明を、真剣な眼差しで熱心に聞いていた。

釣りに入ると、すぐにあちこちで歓喜の声が上がった。釣り上げ

たウマヅラハギなどを手に取り笑みを浮かべるあたりは、なんとも言えないシーンだつた。

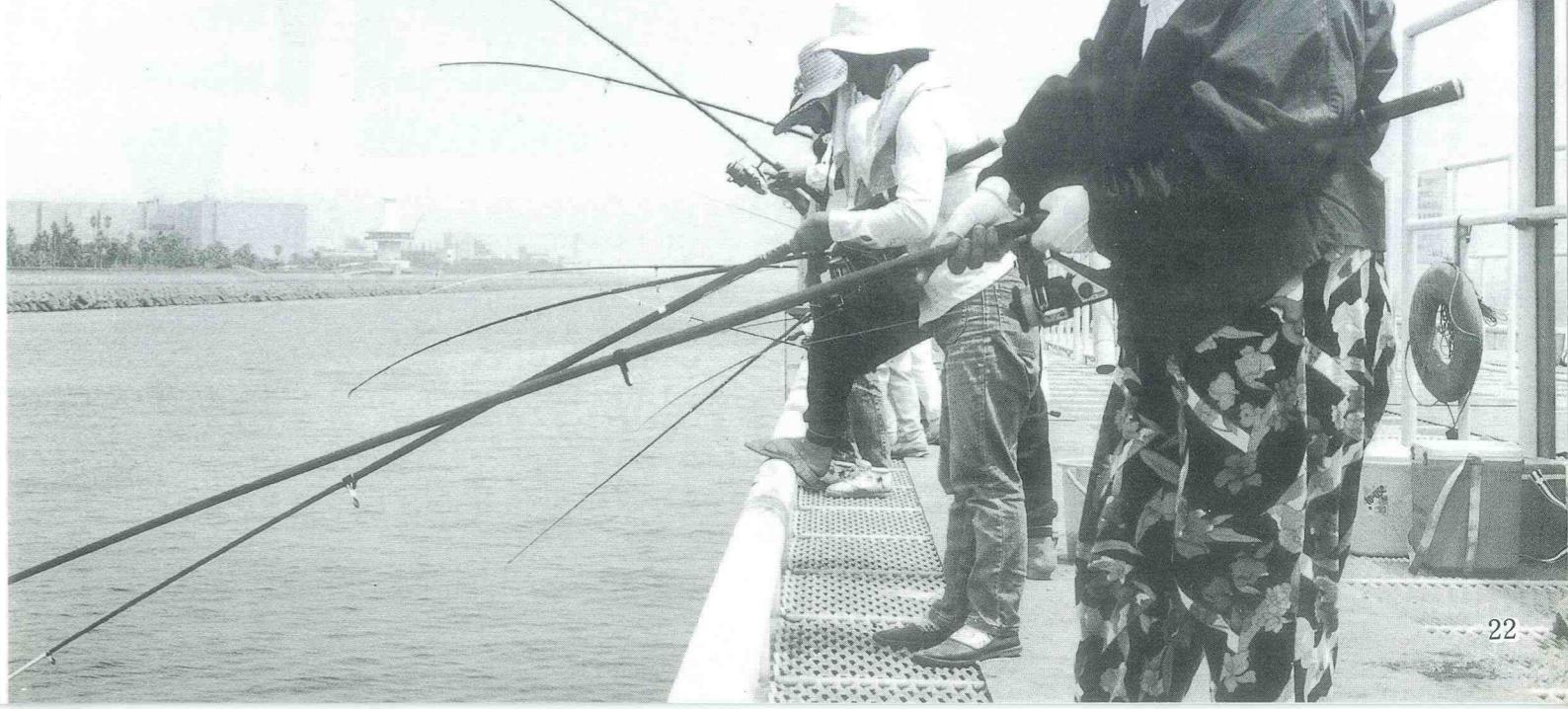
今後また、青空の下での健康的な釣りを通して、家族や友人、そして恋人とのコミュニケーションを深めて欲しいものだ。

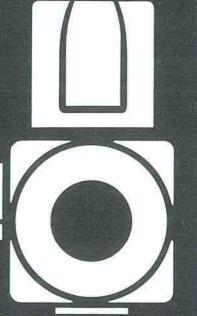
写真と文／新村 光健

女性釣り教室



あなたのフォトサロン①





あなたのフォトサロン②

夏休みのラジオ体操

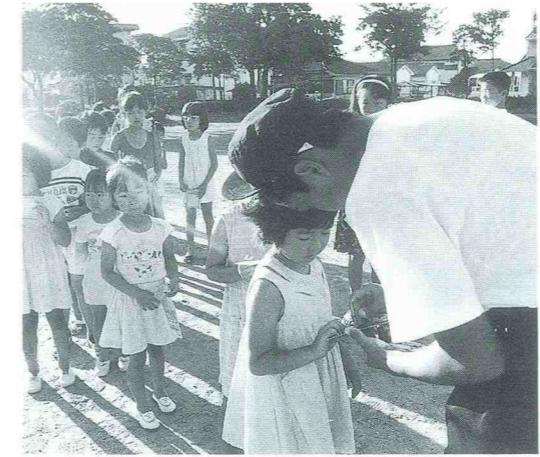
「みんな起きなさい！行くぞ」

子供と四人して通った桜ヶ丘二丁目公園でのラジオ体操。日ごろ子供とふれあうことが少ないだけに、絶好のコミュニケーションの機会でした。

参加したたくさんの子供たちはみんなそれぞれに精いっぱい頑張っていました。

みんな、一学期もケガなく元気で学校生活を送つてほしいものです。

写真と文／窪 健一



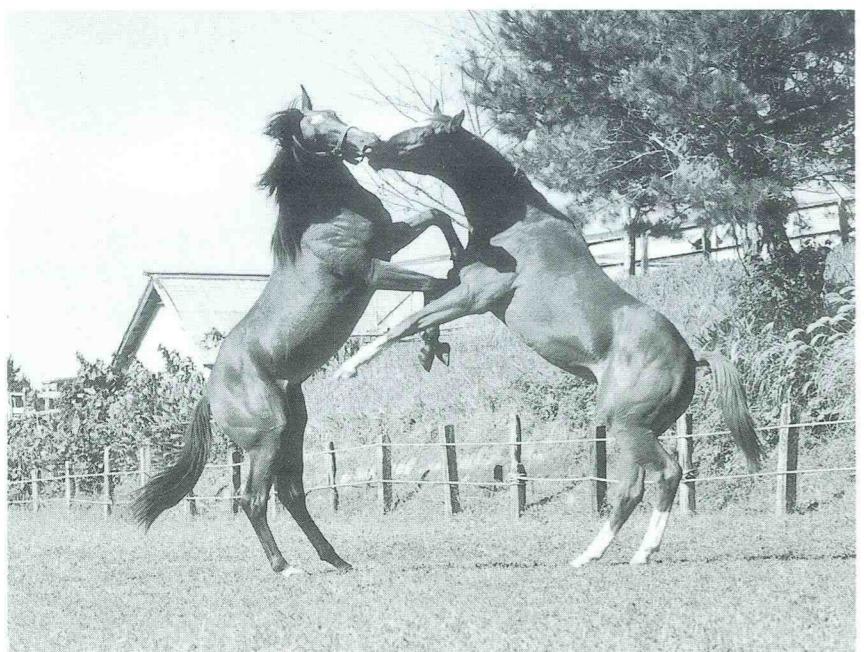
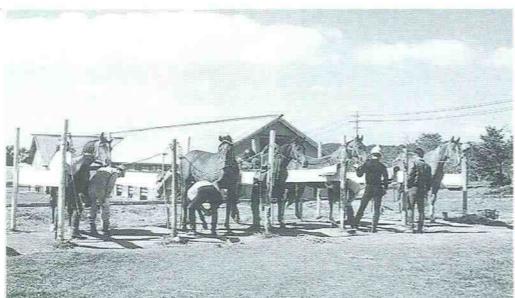
馬

平成二年・午年にちなんで、牧園の牧場へ去年十月から通うこと三ヶ月。まず、職員の調教師の方々と身近に接して、馬を知り、馬になれるところから始めてみた。

冬のことで身も凍る思い、朝五時暗いうちにバイクで家を出て、厩から馬を放牧場へ出すため八時までに牧場に着く。放牧場へ連れ出された馬は、手綱をとかれると途端に走り出し暴れる。寒い朝はよく飛び跳ねるようだ。

やさしい目。そして疾走訓練を終えた馬の背中の水玉のような汗。その汗に朝日が輝き水晶のように輝く。こんな光景に馬ほどすばらしい動物はないなあと思うことだった。

写真と文／芦沢 千歳



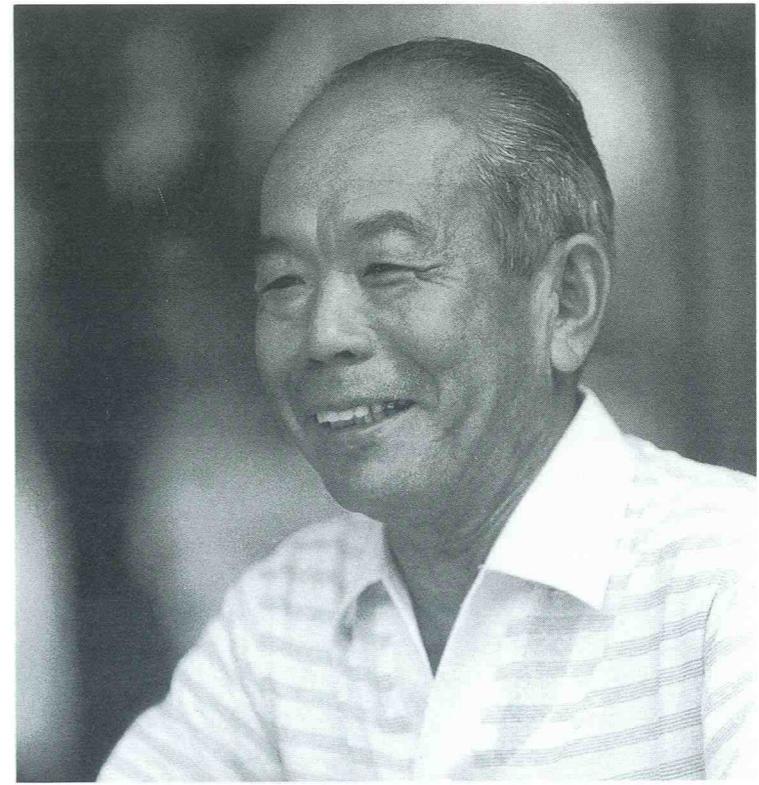
わたしの

散歩道

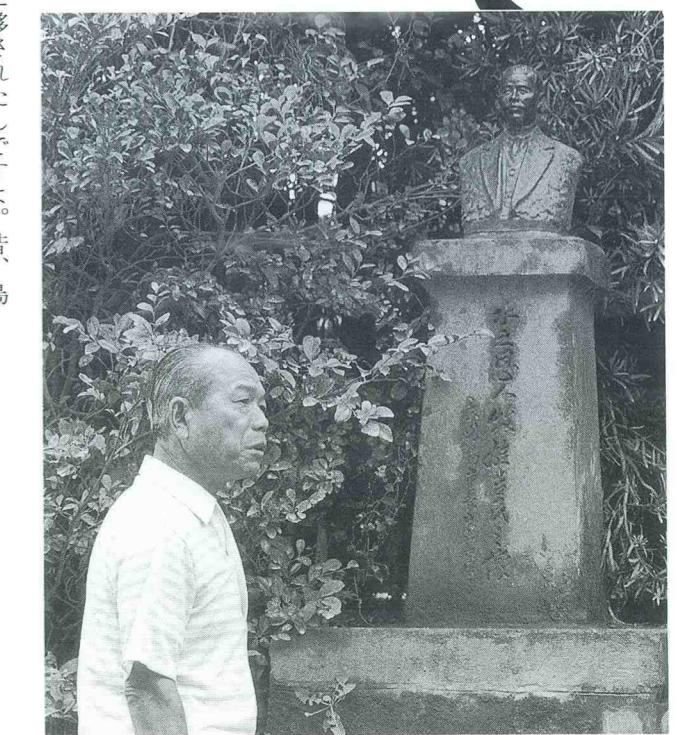
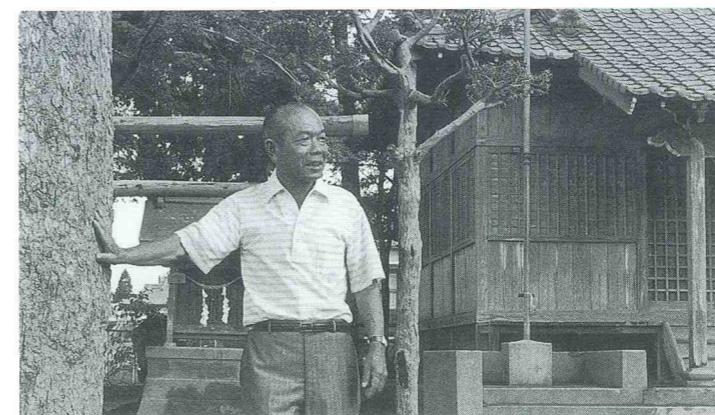
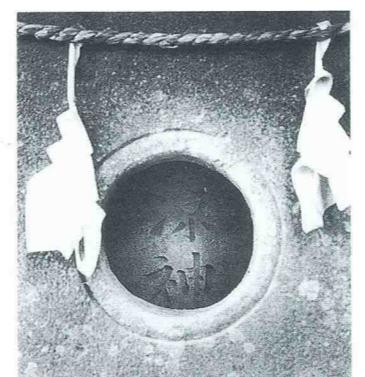
上之原からの眺望は
すばらしい

鹿児島市木市振興会会長

向井勝美



この「涼神」は磯川のところに
あつたんですが、道路拡幅のため
は館馬場の国立病院から西郷銅像
の辺りでやつていたんですが、交
通量も増えてきたため、昭和四十
年の秋から今の市民広場に移った
んです。春と秋の二回、毎年実施
していますが、今は秋の木市準
備に一生懸命です。北海道から観
光で来た人が買つていかること
もあるんですよ。十月十五日から
十一月十五日までですので、たく
さんの人に来ていただきたいですね。



ここに移されたんですよ。昔、島
津の殿様が涼んだところだったそ
うですが、雀ヶ宮という地名もこ
の涼みの宮というところからきて
いるのかも知れないです。

吉野のこの辺りは水がなく、み

んなその下の磯川まで水くみに
行つてました。それが、昭和

年に涼神の宮と呼ばれるようになりました。
それが、昭和四十年の秋から今の市民広場に移った

んです。春と秋の二回、毎年実施

していますが、今は秋の木市準
備に一生懸命です。北海道から観
光で来た人が買つていかること
もあるんですよ。十月十五日から
十一月十五日までですので、たく
さんの人に来ていただきたいですね。

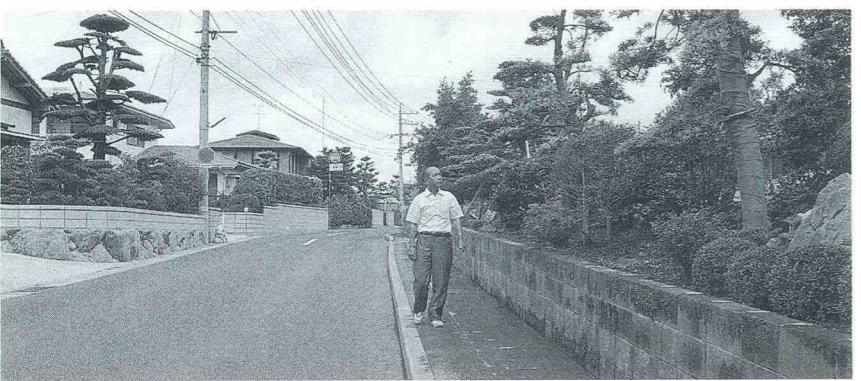
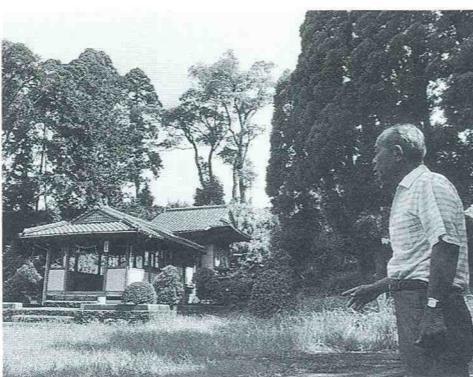
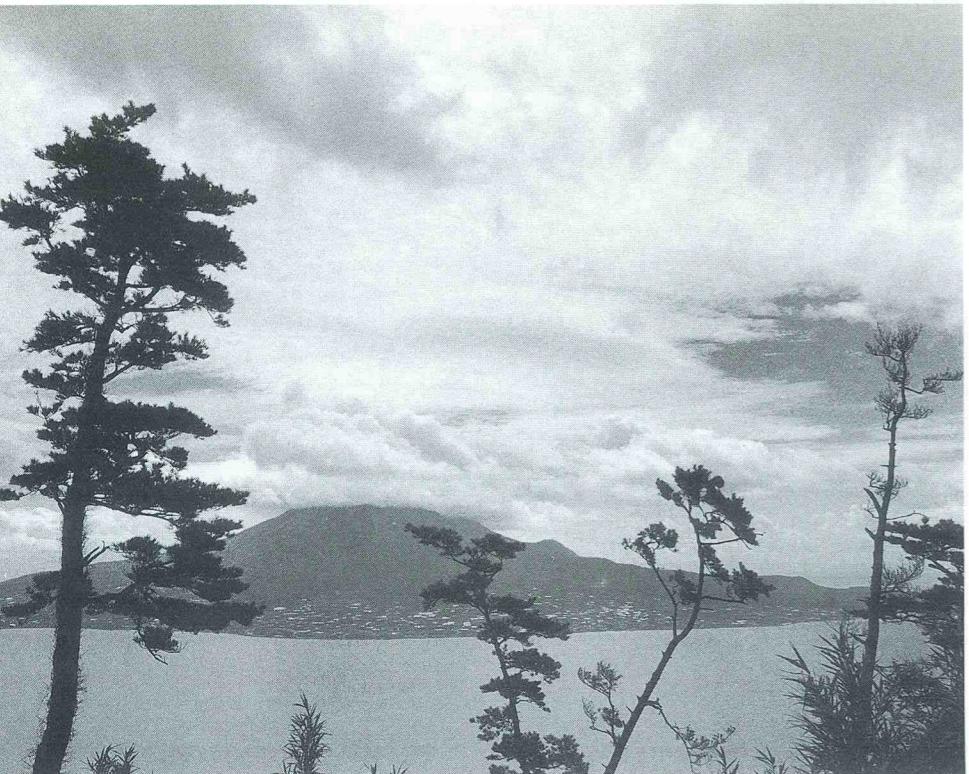
十一年に故・牧 雄吉氏が中心に
なつて寺山からここまで水道を引
いてこられたんです。ここに像を
建てて顕彰してありますが、吉野
の水道の恩人ですよ。

古老に聞きますと、日豊本線は
この磯川沿いに走らせる考えも
あつたらしいですよ。それが、地
元の反対で実現しなかつたらしい
ですが、もしここに走っていたら、
どうなつていたでしょうねえ。

この七社神社は、七人の神様を
祭つてあることから七社という名
になつてます。周囲の木
が多いですね。神社や仏閣には古
い大木がないと、落ち着かないで
すよね。

上之原のここからの眺めはいい
ですね。自然が造つた松の枝ぶり
もすばらしいです。小学校のころ
は遠足でこの先の寺山までよく歩
いたものです。当時は水筒もなく、
寺山から水を飲みに南洲翁開墾地
のわきの水源地まで下つたりした
ものです。

鹿児島の木市は、明治の中ごろ
に始まつたと聞いていますから、
歴史は本当に古いんですよ。以前



●取材メモ

木市振興会の会長として五年。

戦後、始めた仕事も四十年くらい

になり、今は、勝縁園という植木・

園芸・造園業を営む。

子供は一男一女で、長男が家業を

継いでいるが、まだまだ任せきれな
いという様子である。

趣味は特にならないが、遊べる川がな
かったので水へのあこがれがあり、

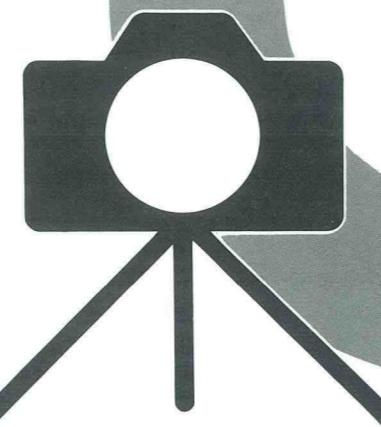
時々、海へ釣りに行くとのこと。

健康法は、毎日タクシード足の裏を

こすることと、仕事をして食事をお
いしく食べることという。

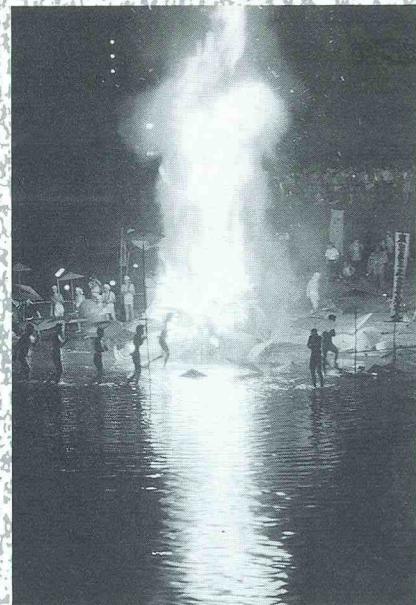
約百十業者でつくる木市振興会の
会長としての仕事も大変のようだ
が、働くのがうれしいという感じが
印象的でした。六十歳。

カメラトピックス



● 7月22日・夏だ、祭りだ！おぎおんさあ

鹿児島の夏祭りとして市民に親しまれている祇園祭（おぎおんさあ）には、猛暑の中、たくさんの見物客は、時代絵巻さながらの雅びな行列や、ワッショイ、ワッショイと景気よく練り歩くみこしの熱気に酔っていました。



● 7月22日・夏空を焦がす曾我どんの傘焼き

鹿児島三大行事のひとつ「曾我どんの傘焼き」も今年で30年目。この夏の風物詩に、今年は番傘などを提供してきた岐阜市和傘振興会などの一行15人も友情参加。両岸につめかけたたくさんの市民とともに、真夏の夜空を赤く染める勇壮な火祭りにしばし見入っていました。



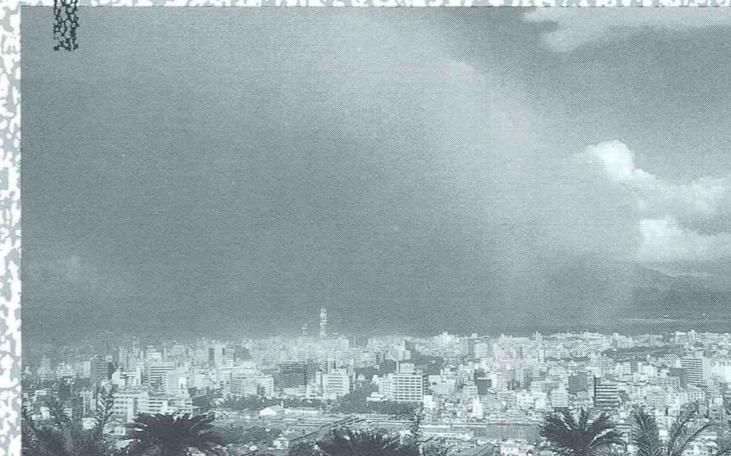
● 8月9日・観光バスガイドさん、大島紬で観光案内

鹿児島市交通局の観光バスガイドの夏の制服が大島紬に。この大島紬の制服は「観光名所と一緒に伝統地場産業のPRにぜひ」と本場大島紬協同組合が贈ったもの。さっそく腕を通したガイドさんたちは、「軽くて肌ざわりが最高」と満足げな表情でした。



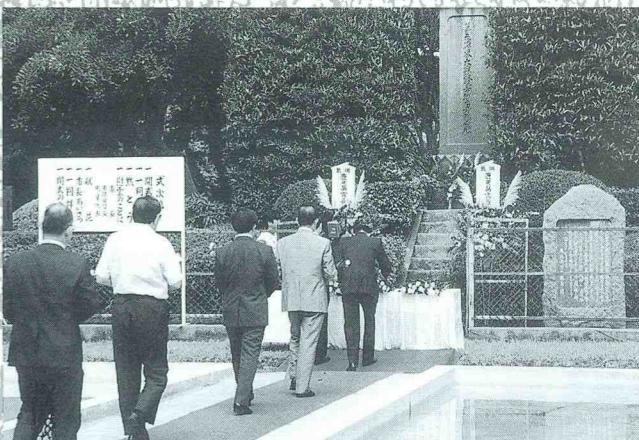
● 8月18日・連日の猛暑にドカ灰が追いうち

連日のように降灰が続いている鹿児島市。18日も市の中心部を猛烈な降灰が襲い、市では9日に続き、今年2回目の降灰対策本部を設置、ロードスイーパーや散水車などをフル稼働させ降灰の除去作業にあたりました。



● 8月19日・クリーン甲突川・新川作戦

ふるさとの川をいつまでも美しく残そう。と「クリーン甲突川・新川作戦」が両河川10ヶ所で一斉に行われました。時折、降灰まじりの雨が降るにもかかわらず、ボランティアの市民約1万3千人が川の清掃奉仕に汗を流し、環境美化に対する意識を高めました。



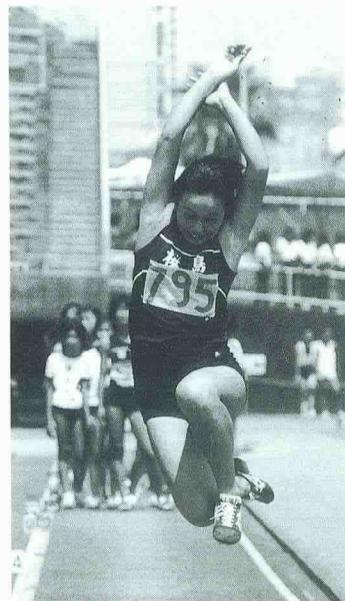
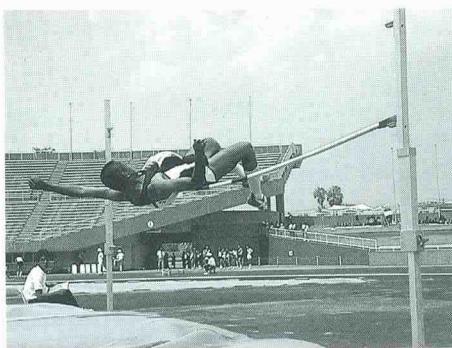
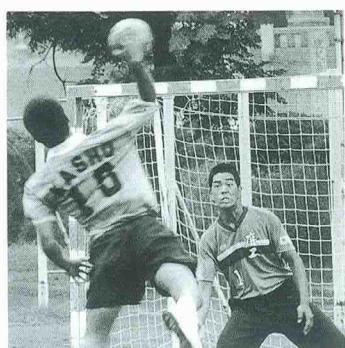
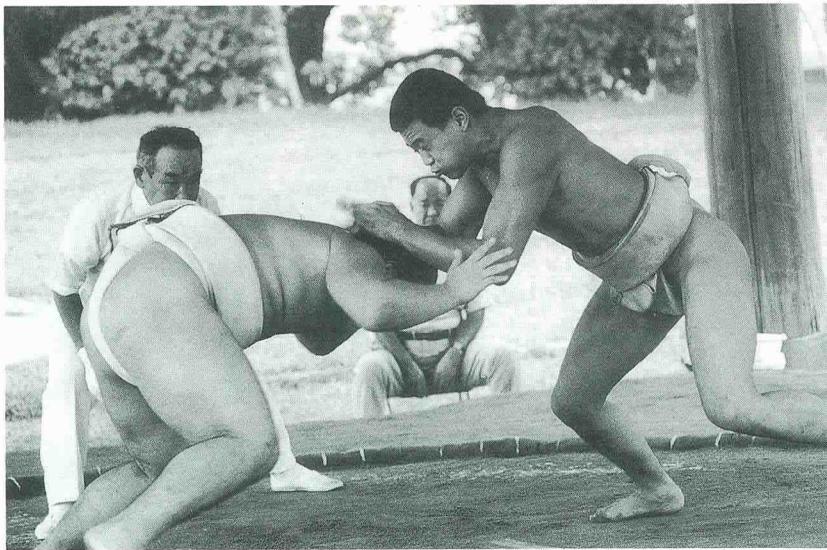
● 8月15日・第2世界大戦敵味方戦死者慰靈祭

45回目の終戦記念日の8月15日、中央公園前の慰靈碑前で行われた慰靈祭では、遺族や市、県の関係者、児童代表ら250人が参列。参加者は慰靈碑前に次々と菊の花を献花し、めい福を祈るとともに、世界平和への誓いを新たにしました。



● 9月1日～11日・長才まつりの開幕

第4回長才まつりの開幕を飾るシンポジウムが1日に、「ふれあい仲間づくり」をテーマに山形屋文化ホールで開催。千葉大学名誉教授多湖輝氏の特別講演や、元オリンピックバレー選手三屋裕子さんらを迎えてのパネルディスカッションがあり、高齢化社会についての活発な意見が交わされました。

A graphic illustration of a camera. The body of the camera is shaped like the Japanese flag (Yukata), featuring a red top section, a white middle section with a black circle (the sun), and a blue bottom section. The lens is on the left, and the flash is on the right.

カメラ
ウォッチング
市体育大会

▼朝夕が涼しくなり、しのぎ
やすくなつて来ました。

今年の夏は、記録的な猛暑

と桜島の異常降灰に見舞われ

不快な毎日が続きましたが、

日ごとに日ざしも柔らぎ自然

の移ろいには深まる秋への気

配が感じられます。

▼ところで中東情勢が緊迫し
ている中で、電力や石油など
のエネルギーの節約がいわ
れ、また、自然環境破壊によ
る地球の温暖化なども懸念さ
れておりますが、これらの問
題は、私たち一人ひとりが心
がけていかねばなりません。

▼十月一日は国勢調査の日で
す。五年に一回のこの調査
は、国の最も基本にかかる
統計調査です。市民の皆さん
のご理解とご協力をお願いい
たします。

▼さて、鹿児島の秋を彩るお
はら祭も近づき、今年は姉妹
都市盟約を結ぶマイアミ市の
皆さんのが来鹿し花を添えます。
外国からのお客様を温かく
迎えたいものです。

▼今月号では、市内定期観光
バスとバスガイドさんが勧め
る観光地などを紹介しました。
秋の一日、ご家族で出かけ
て楽しんでみませんか。

「寒山拾得図」(江戸時代中ごろ)

サイズ (68.0cm×106.0cm) 紙本墨画淡彩

押川 元春

〈作者〉押川元春は、江戸時代中期に活躍した薩摩藩の絵師で、木村探元（1679～1767）の高弟の一人である。六吉元春と号す。

元春については詳しい資料に乏しく、生没年も明らかではない。名を成すに至らずして早く世を去ったと伝えられている。しかし、本作品や尚古集成館所蔵の「富士山水図」などを見るかぎり、高い技量を持った

絵師であることが分かる。

『西藩野史』によると、享保13年5月、島津家22代継豊の命により江戸芝邸の産殿修造に際して、鶴の絵を描いている。また、享保19年には、探元に従って、同門の能勢探龍とともに京都に上り、近衛家に滞在する。翌20年閏3月10日には、近衛家久の前で席画をするという栄誉に浴している。



市立
美術館
学芸員

山西 健夫



〈解説〉寒山と拾得は中国の唐代末ごろ、天台山国清寺に住んでいたといわれる隠者である。

寒山の詠んだ詩によると、寒山は農家に生まれたが、仕事をせずにはばかり読んでいたので、村人や妻からも疎んじられて放浪の旅に出る。そして天台山に隠せいしたわけであるが、彼の詩編は、当時の堕落した仏教界や現世の愚劣さを批判している。

拾得は、寒山伝説がふくらむにつれて、後世において付加された分身と考えられている。

この二人は、古くから禪宗絵画の好画題となってきた。本作品では、二人の上半身が画面に大きく描かれている。ともに髪は伸び放題で、法衣はぼろぼろ、顔には奇矯な笑みを浮かべている。元春は、ことさらに奇怪な描写を強調することによって、逆に一人の超俗の境地を示し得たのである。

ここは歴史のワンダーランド

●開設期間 平成3年 1月20日まで

●開館時間 9:30~17:00

●入館料 無料

新しく展示された軍服とドレス

■場所／JR鹿児島駅東側隣(案内図参照)
■交通／JR鹿児島駅下車、市電・市バス・各社バス
JR鹿児島駅前下車(駐車場有り)



ストップザ。悪徳商法



悪徳商法お断り

悪徳商法に引っかからないための6箇条

- ①簡単にドアを開けずに
まず聞こう『名前と目的』
- ②うますぎるもうけ話に落とし穴
- ③勇気を持って、はっきり言おう
『いりません!』
- ④一人で決めずに
家族・知人にまず相談
- ⑤簡単に、書くな名前、押すな印鑑
じっくり読もう契約書
- ⑥頭を冷やして、よく考えて
うまく使おうクーリング・オフ

相談窓口
鹿児島市 市民生活課
☎24-1111